



にじいろ子育て手帳

「らしさ」や「フツー」に
しぼられない子育てのヒント



はじめに 「もし、子どもがLGBTQだったら…」

日本の子育て環境は、無意識の男女分けが非常に多く、子どもがLGBTQ等の性的マイノリティである可能性にほとんど配慮していません。家庭でも学校でも、LGBTQの子どもたちは適切な情報提供がされず、孤立し、自分らしさを否定される経験をしています。

「もし、親がLGBTQだったら…」

LGBTQの親たちも孤立しています。子育てを経験しているLGBTQも実際には沢山いるのですが、ほとんどの人は保育士や教職員にもカミングアウトできず、地域社会で「家族」と見なされない中で、不安を抱えながら子育てをしています。

「日本の子育て環境って、おかしくない?」

LGBTQではなくても、女の子・男の子、母親・父親としての「らしさ」や「フツー」の決めつけに、モヤモヤしながら子育てをしている人たちがいます。

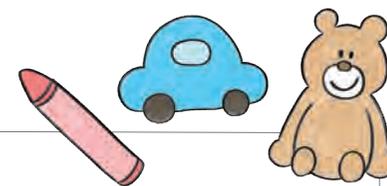
子どもたちも、家族も、とても多様です。「らしさ」や「フツー」とらわれず、楽しく子育てするためのヒントとして、この「にじいろ子育て手帳」を制作しました。子育て中の人、これから子育てをする人、子どもに何らかの形で関わるすべての人に、是非読んでいただきたいと思います。

この「にじいろ子育て手帳」は、特定非営利活動法人虹色ダイバーシティが株式会社TENGAのチャリティ商品「レインボープライドカップ2018」の売上の一部をご寄付いただいて制作しています。2019年4月～5月には、株式会社ブラップジャパン、にじいろかぞく、社会学者・石田仁さんのご協力を得て、ウェブ上で「にじいろ子育てアンケート」を実施し、その参加者の声をこの手帳に活かしています(いただいたコメントは、プライバシーに配慮して表現を変えています)。アンケートには1,434名の方が参加し、うち、子育て経験のあるLGBTQは125名でした。ご協力いただいたすべての方に感謝します。

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ

子どもたちもいろいろ	LGBTQとは	P4
家族もいろいろ	家族に関する制度の基礎知識	P6
保育園	子どもの声・保護者の声	P8
幼稚園	子どもの声・保護者の声	P9
小学校	子どもの声・保護者の声	P10
中学校	子どもの声・教職員の声	P12
スポーツ・部活	のモヤモヤ	P13
子どもから	カミングアウトされたら	P13
高校・専門学校	子どもの声・保護者の声	P14
第二次性徴	の憂鬱	P15
指差し状況説明シート		P16
カミングアウトとは、	アウティングに注意	P16
社会の変化、	教職員向けの情報	P18
相談窓口、	サークル紹介	P19
Safe Place	ステッカー	P20

おすすめブックス おすすめ書籍、コミック(子ども保護者も楽しめる本を年齢別に選んでいます)



鈴木 茂義

1978年 茨城県生まれ。公立小学校非常勤講師、自治体の相談員。オープンリーゲイの教員。専門は特別支援教育や教育相談。

発刊に寄せて

自分自身が教員でありゲイでもあることをカミングアウトしてから、保護者から「逆カミングアウト」を受けることが多くなりました。子どもだけでなく、実は保護者も多様です。そして学校の先生方も、とっても多様です。

みなさんの話に真剣に耳を傾けてくれる先生が、学校のどこかに必ずいます。校長先生、副校長先生、保健室の先生、学年主任の先生、カウンセラーの先生に声をかけてみてくださいね。

子どもたちもいろいろ

「女らしくない」女の子、「男らしくない」男の子は、周囲からからかわれたり、イジメられたり、自分で自分を否定したりすることがあります。



サッカーって楽しい！
できればずっと続けたい。
でも、最近、「女なのに」って
よく言われるのがイヤ…



キラキラした服が大好き！
でも、僕が着たら
友達から
笑われちゃうかな…



お互いに自分の好きなもの
の話ができる、一番の友達。
でも、周りから「アヤシイ」って
言われて悲しくなっちゃった…



男の子、女の子って分けられると、
どっちに行ったらいいのかわ
らなっちゃう…
やっぱり自分がヘンなのかな…

周囲の人は、その子がどんな子かを決めつけず、その子が楽しいこと、大好きなことを
否定せず、見守ってあげてください。

LGBTQとは

性のあり方はとても多様で、変化することもあります。周囲の人たちが「女の子らしさ」「男の子らしさ」を無理に当てはめようとすると、自分自身も含め、自分の好きなことを好きでいられなくなってしまう子もいます。

ここでは、子どもの個性を考えるヒントとして、LGBTQの言葉の意味をご紹介しますが、これらがピッタリくる子もいれば、そうではない子もいます。(LGBTQに当たる人は3%~10%という調査結果もあります)

L

Lesbian

自分を女性と自認し、
女性を好きになる人

G

Gay

自分を男性と自認し、
男性を好きになる人

B

Bisexual

女性を好きになることも
あれば、男性を好きになる
こともある人

T

Transgender

出生届に記載された
性別とは異なる
アイデンティティをもつ人

Q

Queer

その他の性的
マイノリティの人のことを
総称する言葉(※)

(※Questioning 自分の性のあり方を模索中、あるいは、決めないことを選ぶ人を指すこともある)

家族もいろいろ

いろいろな「家族」があります。法律上のつながりが、ある場合も、ない場合もあります。ひとり親の場合も、親ではなく祖父母等が保護者の場合もあります。離婚した保護者同士が子連れで再婚して、複合家庭の場合もあります。もちろん、誰かがLGBTQの場合もあります。自分の周囲にもいろいろな家族がいると知っておくことが、とても大事です。



レズビアンのカップルですが、ゲイの友人から精子提供を受けて出産しました。戸籍上は産んだ人がシングルマザーですが、実際は3人で協力して育てています。



私が出産しましたが、「母」として生きていくのがつらくて、今は離婚して、子どもと暮らしています。



海外国籍のパートナーと海外で同性結婚し、代理母により子どもを授かりました。今度日本に帰国するのですが、子どもがどんな扱いになるのか心配です。

里親研修を受けて、里子を迎えました。一見フツウの親子と思われるのですが、父親はトランスジェンダーで、女性として生まれています。



おすすめグッズ

「いろいろなかぞくのほん」

著者：メアリ・ホフマン
絵：ロス・アスキス
訳：杉本 詠美
発行：少年写真新聞社 (2018)

アメリカでは2013年時点で11万組以上の同性カップルに子どもがいて、様々な調査がされており、親が同性カップルであることで子どもへの「悪影響」はないと結論づけられています。

家族に関する制度の基礎知識

血縁や異性間の結婚以外の方法で、「家族」になっている人たちもいます。個人間で契約書をつくり、公正証書や遺言書にする人もいます。制度的にはどんなものがあるのか、ご紹介します。

●自治体のパートナー登録

2019年10月8日時点で26の自治体でパートナー登録が可能で、617組が登録しています。病院での面会ができるようになったり、公営住宅への入居で家族として扱われたりしますが、民法上の「結婚」ではないため、相続や社会保障上は家族扱いされません。公正証書を要件にしている自治体もあります。

●養子縁組

養育する子どもと戸籍上も親子になる「特別養子縁組」は、異性同士で結婚しているカップルにしから認められません。一方で、同性カップルが、結婚の代わりとしてパートナーを養子にすることもありますが、相続等で親族ともめてしまうこともあります。

●同性結婚・婚姻の平等

世界の26の国・地域(2019年10月時点)で、同性同士でも、異性同士と同じ結婚ができますが、日本ではまだ実現していません。2019年に「結婚の自由をすべての人に」訴訟が始まり、日本弁護士連合会も同性婚を認めるべきと意見書を出しています。日本で同性カップルが子の共同親権を持つとすると、同性結婚が必要な状況です。

●里親制度

施設等で育つ子に家庭的な環境を、という主旨の里親制度は、シングルの人でも、戸籍上同性のカップルも登録可能です。大阪市で同性カップルを里親に認定した実績があり、東京都でも基準が改正されています。



にじいろ子育て手帳

保育園

子どもの声
保護者の声

★
発表会の時、男の子と女の子で、
クマとウサギに役が
分かれていたのがイヤだった

≡子どもの声≡

★
恐竜やミニカーで
遊んでいたら
「男の子みたい」と言われた

★
ご近所にカミングアウトして
いなかったの、行政の人(民生委員)の
家庭訪問の時に緊張した

≡保護者の声≡

★
子どもに何かあると、
まず父親でなく母親に連絡がくる
慣習になっていてモヤモヤする…

★
保育園の申込書で
家族の欄があって、
どう書けばいいのか
困った



★
保育士の方に事情を話したら、
同性のパートナーを保護者の
一人と扱ってくれるようになった

≡嬉しかったこと≡

★
子どものスモッグの色が男女で違っていたが、
意見を出したら黄色に統一してくれた

私たちの調査では、物心ついた時から、女の子だから・男の子だから、という周囲の決めつけに悲しい思いをしている子が沢山いました。いろいろな子どもや家族がいるということをまず知っていただければと思います。

MEMO



にじいろ子育て手帳

幼稚園

子どもの声
保護者の声

★
童話のお姫様が自分には
まったく理解できず、
「なんでいつも王子様を待ってるの？」
と聞いたら怒られた

≡子どもの声≡

★
お気に入りの青のTシャツを着ていたら、
周りの子から「男の子みたいでヘン」と
言われて泣きたくない

★
テレビや絵本に
母親・父親が
セットで出てくると、
少し胸が痛む

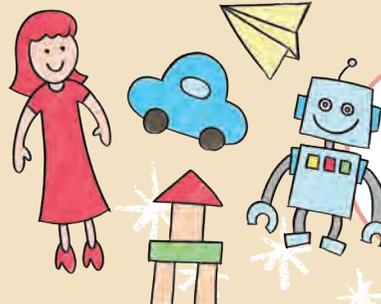
≡保護者の声≡

★
園行事で、
母親だけが
料理の担当になる

★
男の子向け、女の子向けに
かわらず、
自分の好きなおもちゃで
遊ばせてもらえた

≡嬉しかったこと≡

★
女の子でも勇者役を
やらせてもらえた



▼ おすすめのブックス ▼



「たまごちゃん、たびにでる」
著者：フランチェスカ パルディ
イラスト：フランチェスコ トゥーリオ・アルタン
翻訳：ドリアーノ スリス、おおにし よしみ
出版：イタリア会館出版部 (2013)



「じぶんをいきるためのーる。」
著者：ippo.
出版：解放出版社 (2015)



「王さまと王さま」
著者：リンダ ハーン、スターン ナイランド
翻訳：アンドレア ゲルマー、眞野 豊
ポット出版 (2015)



小学校

子どもの声
保護者の声

★
男女別のトイレに
他の子と行きたくなくて、
ずっと我慢していた

★
ショートカットにしていたら
「オトコオンナ」と言われた

★
スクール水着が
本当に嫌だった

子どもの声

★
ランドセルの色、
好きな色でいいと言われたのに、
青を選んだら水色にしておくよう
親から説得された

★
作文で「わたし」と
書きたくなくて
「自分」と書いたら
先生に直された

★
アニメの少女戦士ものが
好きなことがバレて
「男のくせに」と笑われた

★
習字や裁縫道具のデザインとか、
未だに男女で分かれていることが
沢山あって驚く…

保護者の声

★
子どもが自分で好きな格好をするのを
応援したいのに、周囲から
「もっと女らしい服じゃないとかわいそう」
とか、あれこれ言われる…



おすすめグッズ



「くまのトーマスはおんなのこ」
著者: ジェシカ ウォルトン
イラスト: ドゥーガル マクファーソン
翻訳: かわむら あさこ
発行: ポット出版プラス (2016)



「ふたりママの家で」
著者、イラスト: パトリシア・ボラッコ
翻訳: 中川 亜紀子
発行: サウザンブックス社 (2018)



「放浪息子」
著者: 志村貴子
発行: KADOKAWA (2003)

♡
サッカーをやりたいと言ったら、
男子チームに混ぜてくれた

嬉しかったこと

♡
祖父母が買ってくれる服が
キラキラしていて苦手だったが、
親は好きな服を着せてくれた



♡
「〇〇ちゃん」と呼ばれるのが
嫌だと先生に言ったら、
全員「〇〇さん」と呼んでくれる
ようになった

MEMO

MEMO



中学校

子どもの声
教職員の声

★
ギリシア神話など、
同性愛のことが
書いてある本を
図書館で探しては、
こっそり読んだ

★
自分は他の人と違うと
気づいてから、
人からどう見えるのかばかり
気にするようになった

子どもの声

★
異性の友だちと遊んでいたら、
周囲からからかわれるようになって
遊べなくなっちゃった

教職員の声

★
教職員にも当事者がいる。
自分は校長には話しているが、
PTAや教育委員会には伝えていないため、
教室で話しくく、もどかしい。



私たちの調査では、小学校高学年から中学校
校がもっともシンドかったと回答している
LGBTQ の人が多いです。第二次性徴、
恋愛の話題、限られた人間関係、いじめ…
当事者に「一人じゃないよ」と伝える必要
があります。

♥
制服のスカートが嫌だと
先生に伝えたら、
体操着で通えるようになった

嬉しかったこと

♥
LGBTQの話が
ドラマになっていて、
親が涙を浮かべて
観ていた

おすすめブック



「思春期サバイバル
～10代の時って考えることが
多くなる気がするわけ。」
著者:ここから探検隊
発行:はるか書房(2013)

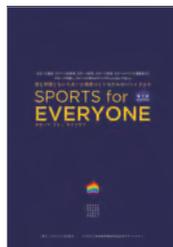


「弟の夫」
著者:田亀源五郎
発行:双葉社(2015)

スポーツ・部活のモヤモヤ

スポーツ・部活の現場は、男女で種目やユニフォームが分かれていたり、ロッカールームや合宿などの「裸の付き合い」が多かったり、コーチ・選手、先輩・後輩などの力関係もあり、セクハラやパワハラが起こりやすい場です。その中で、LGBTQの人たちはより悲しい思いをすることがあります。スポーツに関わったことのあるLGBTQの41.5%が差別的発言を聞いたことがあるというデータもあります。みんながスポーツを楽しむために、できることを考えてみましょう。

おすすめブック



「SPORTS for EVERYONE」

テキスト:虹色ダイバーシティ
発行:プライドハウス東京(2019)



「歴史を変えた50人の女性アスリートたち」
著者:レイチェル・イグノトフスキー
翻訳:野中モモ
発行:創元社(2019)

子どもからカミングアウトされたら

三重県が全日制高校を対象におこなった調査では、10%がLGBTQでした。子どもやその友だちがLGBTQである、というのは、珍しくありません。育て方に何か問題があってLGBTQになるわけではないので、まずはその子の話をしっかり聞いてあげてください。

おすすめブック



「カミングアウト・レターズ」
著者:砂川秀樹
発行:太郎次郎社エディタス(2007)

MEMO

MEMO



高校・ 専門学校

子どもの声
保護者の声

★ SNSで近所に当事者グループがあるのを知ったが、興味はあるけど怖くて、まだ行けていない

子どもから泣きながらカミングアウトされて、一人で抱えて苦しかったろう、言いくかかったろう、と、今までの自分の言動を後悔した

子どもの声

★ 同級生でたまたま当事者の友人ができて、色々相談できたので、ラッキーだった

★ 生物の授業で生き物の多様性について話してくれた先生がいて、自分もいていいんだという気持ちになった

保護者の声

★ 自分の子どもみたいな子が少しでも生きやすくなるよう、LGBTQのイベントでボランティアをしている

★ 同性の恋人ができたが、親には知られたくない、自分は親不孝だと思うと苦しい

★ 将来のロールモデルになるような人がいなくて、どうやって生きていけばいいのか途方にくれた

★ とにかく地元を離れたくて、当事者サークルのある都会の大学か海外の大学を目指すことにした



おすすめグッズ



「カミングアウト」
著者：砂川 秀樹
発行：朝日新書(2018)



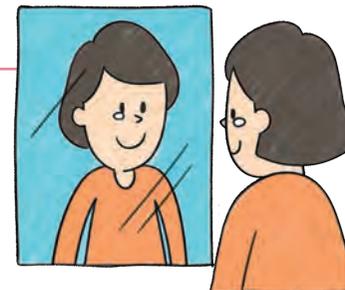
「きのう何食べた？」
著者：よしなが ふみ
発行：講談社(2007)



「職場のLGBT読本」
著者：柳沢正和、村木真紀、後藤純一
発行：実務教育出版(2015)

第二次性徴の憂鬱

トランスジェンダーの子どもたち、女性・男性という性役割がしっかりこない子どもたちにとって、身体に大きな変化がある第二次性徴の時期を乗り越えるのはとても大変です。インターネットには不正確な情報も多く、親子ともに振り回されてしまうこともあります。



★ 他人の目が怖くて、学校に行けなくなった

★ 先生に相談したら、制服や合宿などで柔軟に対応してもらえた

★ 自分の身体が変わっていくのが恐怖で、自分を傷つけることがあった

トランスジェンダーの子どもたちの経験

★ インターネットの海外通販でホルモン剤を買って、自己判断で大量に飲んで体調を崩し、緊急搬送された

知っておいて欲しいこと

- 1 性自認(自分の性のとらえ方)は、時期によって揺らぐ子もいれば、ずっと一貫している子もいる
- 2 性同一性障害は精神障害の項目から外れることになった(WHOでGender Incongruence(性別不適合)という項目が新設)
- 3 制服やトイレの相談は、診断書がなくても可能(少しの環境調整のために診断書を求めるのは、むしろ人権侵害になりうる)
- 4 本人が身体の状態に苦しんでいるなら、ジェンダー・クリニックに相談して、第二次性徴を一時的に止める薬を処方してもらうこともできる
- 5 高校、大学や企業の対応事例はどんどん増えており、トランスジェンダーであっても、進学も就職も諦めなくていい

おすすめグッズ



「トランスジェンダーと職場環境ハンドブック
～だれもが働きやすい職場づくり～」
著者：東 優子、虹色ダイバーシティ、ReBit
発行：日本能率協会マネジメントセンター(2018)



「しまなみ誰そ彼」
著者：鎌谷 悠希
発行：小学館(2015)

このページは、教育機関・医療機関・行政窓口向けに、子どもや保護者が口頭で状況を説明するのが難しいと思った時に、指差して使うシートです。ご自分が必要なところを使ってください。「今は伝えたくない」という時は、無理をしないようにしてください。なお、個人情報を書く場合は、書いた紙を紛失したりしないよう、プライバシーに十分注意するようにしてください。

指差し  状況説明シート 01

★ (私・パートナー・子ども) 自身のこと

- 自認している性別は 女性 男性 その他()

- 戸籍等の性別は 女性 男性 その他()

- 呼称は ()と呼んでほしいです
家族は()と呼んでいます

- 今、困っていること
相談したいこと 服装や施設 人間関係 その他
特に困っていることや相談したいことはない

- この状況をすでに知っている人は 母親 父親 子ども 祖父母 友人
他の保護者 保育士 教員 職員 カウンセラー
医療関係者 地域の人 職場
その他()

- この状況を知らせてもよい範囲は 母親 父親 子ども 祖父母 友人
他の保護者保育士 教員 職員 カウンセラー
医療関係者 地域の人 職場
その他()

指差し  状況説明シート 02

★ 家族・連絡先に関すること

- 同居している人 いない 子ども パートナー 母親 父親
きょうだい 他の親族 友人
その他()

- パートナーがいる場合、
法律上の関係は 結婚している 養子縁組している
パートナー登録している
公正証書や遺言で後見人になっている
特に法的なつながりはない その他()

- 子どもの遺伝上の親は 現パートナー 元パートナー 友人 親族
その他()

- 緊急連絡先 名前() 続柄・関係()
電話・メール等()

- この状況をすでに知っている人は 母親 父親 子ども 祖父母 友人
他の保護者 保育士 教員 職員
カウンセラー 医療関係者 地域の人 職場
その他()

- この状況を知らせていい範囲は 母親 父親 子ども 祖父母 友人
他の保護者 保育士 教員 職員
カウンセラー 医療関係者 地域の人 職場
その他()



★ ★ カミングアウトとは
自分がLGBTQ等の性的マイノリティであること、性的指向(好きになる相手の性別)や性自認(性別に関するアイデンティティ)等を、自ら表明すること。一部のみにだけ伝える人もいれば、特に周囲に隠していないという人もいます。子どもが関わる場合は、カミングアウトに特に慎重になる人が多いと思われます。

★ ★ アウティングに注意
本人の同意なく、第三者が、LGBTQ であること、性的指向や性自認などを漏らす(暴露する)こと。性のあり方は重大な個人情報です。プライバシーの侵害にあたるだけでなく、学校や地域で居場所をなくしたり、命に関わるケースもありますので、軽く扱わないよう、注意をしてください。



★ 社会の変化

今、LGBTQをめぐる日本社会の状況は急速に変化しています。何かニュースを見つけたら、周囲の人と話してみましよう。



★★ LGBTQをめぐる最近の動き

渋谷区・世田谷区でパートナー制度が始まる(現在は全国の自治体に広がっている)

2015年

文科省が全国の学校に性的マイノリティの子どもたちへの対応について通知

2016年 厚労省のセクハラ指針に性的指向・性自認という文言が入る(パワハラ指針にも入る予定)

2017年 経団連が提言を発表、企業の取り組みが進む

2018年 お茶の水大学(女子大)がトランスジェンダー女性の受け入れを表明

2019年 オリンピック関連の東京都の条例に、性的指向・性自認による差別禁止が入る

★ 教職員向けの情報

LGBTQの子どもたちは、クラスに1人以上とされていますが、ほとんどの子は周囲の大人に相談することができません。教職員からの適切な情報提供は、子どもからも親からも、切実に求められています。一方で、教職員自身も学ぶ機会が少なく、自信を持って情報提供できないという悩みを聞きます。

しかし、LGBTQの子も過ごしやすい学校づくり、少数派でも居場所があるよ、というメッセージは、他の子にも良い影響があります。子どもたちと共に学ぶ姿勢で、取り組んでいただきたいと思います。



♥ おすすめのブック ♥

「はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで」
著者:石田 仁
発行:ナツメ社(2019)



冊子
「淀川区教職員向け
LGBTハンドブック」



★ 相談窓口

●よりそいホットライン
0120-279-338

24時間 通話料無料

音声ガイダンスで4番(性別や同性愛などに関わる相談)を選択



<http://279338.jp/yorisoi/>

●相談機関一覧

http://nijiroidiversity.jp/lgbt_telephone/
(対面相談がある相談機関もあります)



★ サークル

●にじいろかぞく

2010年活動開始。「子育てするLGBTとその周辺をゆるやかにつなぐ」をコンセプトに、さまざまな人が気軽に参加できるピクニックなどの交流会の開催や、子育てをするLGBT家族について発信する活動を続けている。

🐦 @nijiroidiversity



●多様性を対話する。lag(ラグ)

自分の性と生を大切に、大人も子どもも、あるがままの自分を生きられる場づくりとして、交流会や親子むけワークショップなどを行う。

🐦 @lag_dialog



●LGBTQ支援団体一覧

http://nijiroidiversity.jp/lgbt_support/



♥ おすすめのブック ♥

「いろいろな性ってなんだろう?」
監修:渡辺 大輔
発行:ポプラ社(2016)

SAFE PLACE

この場所は、
**LGBTQやその家族・友人にとって
安全な場所です**

何か困ったことがあれば管理者にお知らせください

6色の虹はLGBTQの人たちと共に生きる気持ちを表すシンボルとして、
世界中で使われています



↑カラーコピーして、子育てや教育に関する場所や相談機関での掲示にご活用ください

各種PDF資料のURLリスト

- にじいろ子育て手帳 http://nijirodiversity.jp/kosodate_techo/
- Safe Place 掲示用画像 http://nijirodiversity.jp/safe_place/
- にじいろ子育て調査の報告書 http://nijirodiversity.jp/kosodate_survey/

にじいろ
子育て手帳



Safe Place
掲示用画像



にじいろ子育て調査の
報告書



にじいろ子育て手帳 第1版 2019年11月発行

●発行:特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ ●協力:株式会社TENGA、株式会社ブラップジャパン、
にじいろかぞく、lag、鈴木 茂義 ●調査協力:石田 仁 ●イラスト:坪本 幸樹 ●レイアウト:妹尾 亜留美